

修士論文のまとめ方

1. 作成にあたっての注意点

【使用言語】

- ・ 修士論文およびその他の提出物で使用する言語は、日本語または英語とします。

【ファイル形式・体裁】

- ・ ファイル形式は、必ず PDF 形式(PDF/A 推奨)で提出してください。
- ・ 標題紙および論文要旨の所定書式は、「塾生サイト」からダウンロードしてください。
<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gsmg/class/thesis-degree/master.html#check>
- ・ フォントサイズ、ページ余白の指定はありません。
- ・ 論文データ(審査用)提出後に、メディアセンターにて印刷、製本作業を行います。製本作業に伴い、原則としてすべてA4 サイズ片面 1 ページで作成してください。図表を挿入する等の理由で A3 で作成したい場合、事前に学事担当に相談してください。
- ・ 設計図、作品、ソフトウェア等の付録(添付物)を提出したい場合、事前に学事担当に相談してください。(模型等の作品は受け付けません。)
- ・ 印刷・PDF 化できない動画データ／音声データ等がある場合は、**修士論文の PDF ファイルに埋め込みはせず、必ず CD-ROM など付録(添付物)として提出してください。**
PDF ファイルに埋め込んで提出された場合、製本作業時に出力・印刷ができないことがあり、以下の対応を取ることがあります。

- 埋め込まれている動画／音声等を削除し、該当箇所に以下のような一文を記載
「※印刷・複製にあたりこの動画/音声は削除しました 湘南藤沢メディアセンター」
- 代替画像への差し替え

これらの対応は、製本作業にのみ適用するもので当該論文の電子公開については PDF をそのまま公開します。ただし、電子公開における該当箇所の再現は保証しません。

【その他】

- ・ 修士論文は、執筆者の許諾に基づき、SFC学位論文リスト(湘南藤沢キャンパスからのみ閲覧可)、で公開します。

<https://auth.lib.keio.ac.jp/db/?key=sfclist>

- ※ 学外のネットワークからアクセスする場合は VPN 接続をしてください。
VPN サービスについて

https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/ja/network_cns_vpn2.html

2. 修士論文の構成・体裁

構成は、必ず以下の通りにしてください。

(日本語で論文を執筆する場合)

1. 標題紙
2. 論文要旨(和文)
3. 論文要旨(英文)
4. 目次 *省略可
5. 論文本文

(英語で論文を執筆する場合)

1. 標題紙
2. 論文要旨(英文)
3. 論文要旨(和文)*省略可
4. 目次 *省略可
5. 論文本文

標題紙と論文要旨の体裁は、以下の通りにしてください。

(標題紙・和文)

修士論文 2023 年度 [論文題目]
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 [氏名]

- ・大学院名・氏名を記載してください。
- ・標題紙にはページ付けはしないでください。

(標題紙・英文)

Master's Thesis (Academic Year 2023) [Title]
Keio University Graduate School of Media and Governance [Name]

・年度を記載してください。

(論文要旨・和文)

修士論文 2023 年度 [論文題目] [論文要旨] 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 [氏名]

(論文要旨・英文)

Master's Thesis Academic Year 2023 [Title] [Summary] Graduate School of Media and Governance Keio University [Name]
--

- ・ ページ数は、**標題紙には振らず、論文要旨から振ってください。**
 - ・ 英語で論文を執筆する場合は、論文要旨(和文)は必須ではありません。
 - ・ 提出ファイル名は「学籍番号_氏名」としてください。
-
- ・ 論文本文の体裁は以下に示す「まとめ方の例」に準じてまとめてください。ただし、章・節のたて方、章・節の名称、順序などは自由です。また、*印は記述内容例です。

論文本文「まとめ方の例」

第1章 はじめに(序章)

*研究のきっかけ・成り立ち

*研究の目的・意義

第2章 研究の背景

*国内外の研究状況

*研究の動向

第3章 研究の概要

*研究の概要

*研究の特徴・独創性(他の研究との相違を明記する)

*期待する成果

*研究の方法

第4章～第〇〇章 研究成果

*研究アプローチ・結果の詳細

*作品・プログラム等の説明

*特徴ある研究成果の主張

第〇〇章 おわりに(結言)

*研究成果のまとめ

*今後の課題

謝辞

参考文献

*引用文献リスト

(本文中に引用した参考文献の文献番号または著者名等を明記し、研究と参考文献との関係を明らかにする)

付録